

埼玉県信用金庫

債権書類を集中管理

電動式移動ラック導入

埼玉県信用金庫（安田裕信理事長）は、3月から全98カ店の事業性融資の債権関連書類を本部で一括管理する。集中化することで営業店事務を効率化するの狙い。

効率的に保管・管理するため、電動式移動ラック「つばきセキユリティストッカ」（積本興業）を導入した。個人ローンなど約20万件の債権関連書類は、

既に集中保管・管理を行っている。11年3月から事業性融資の書類（約8万件）を1年半かけて移行する。

書類を保管するスペースは、本部に隣接していた倉庫を改装。環境保全にも配慮。一部の蛍光灯に消費電力、CO₂を約5割削減できる「E-COOL」（積本興業）を導入した。

経営企画部は「集中

管理によって事務効率化のほか、営業店の省スペース化にもつながるので、今後は新たな店舗レイアウトも検討していくとしている。

埼玉県信用金庫 E・COOL導入記事
金融機関向け新聞「ニッキン」
(2011年1月28日付)